

加賀屋博文、ワールドゲームズ日本代表に決まる

8月に開催される第6回ワールドゲームズの日本代表に加賀屋博文が内定した。開催地である秋田県オリエンテーリング協会が指名したものの、もちろん秋田出身だからというだけの理由で選ばれた訳ではない。世界選手権通算出場3回は日本男子選手歴代5位、そして今期も好調でランキング上位を走っている。その加賀屋選手にワールドゲームズへの抱負を聞いた。



調整の仕方が分かってきた

- 最近好調のようだが、ワールドゲームズを意識しているの？

WGというよりも来年夏の世界選手権を意識してますね。(結果は出てきつつあるが)レース内容という点では、それほどよくはないという評価です。ミスが多い。ただ結果としてもポジションに落ちるというだけ。前よりも、レースに対するコンディショニングがうまくいっているというのがありますね。レースに向けて調整して臨むようにしているので、前ほど無理が気なくなりましたので、ちゃんと休むことが必要だし、どこまで休めばいいかがやっと分かってきましたから。

7月は150kmしか走れませんでした。9、10月と追い込んだトレーニングができ、11月はレースと割り切っていたので、レース当日走ってみて、調子がよいな、ということが多いです。

だが、内容は今一つと評価

- 内容を評価していないというのは、ミスが多いということ？

そうです。ただ多摩のレースで走っていて「これはうまく走れてないな」という時に、ラップをみてもカッシーに逆転されています。レース中に悪い時とそうでない時の感覚と実

際があっている、これはある意味いい感じなのだと思います。

- 安定はしているけれど、1位になれていない。もう一歩というところがありますね。

集中力を最後まで維持できていないんです。5、60分をすぎたあたりで集中力がとぎれてしまう。自分ではトップを狙っていているんで、2、3位じゃうれしくないですね。5、60分過ぎてからもトップを取れるようなレースがしたい。そのために、1、2月にもう少し走り込んで、あと10-20分集中を続けられるようにしたいと思っています。

- 走力だけでなく、技術的な課題もあるんじゃない？

課題はもちろんあります。でも前よりもバランスが取れていると思っています。ミスした時にどこまで冷静になれるかが課題なんですよ。レース後半、今一つ情報が使い切れていないんです。これはWGというよりもフィンランドの世界選手権に向けてなんです。きっちり歩測ができないと、見通しが利かないところじゃあ、どうしようもない。地図読みだけでは対応できないので、もっと早く走るための方法を身につける必要があると思います。

WGは故郷に錦か、恥を晒すか

- WGの話に戻ると、「故郷に錦を飾る」ことになる訳ですが、

地元の友だちもWGのことは皆知っています。自分がオリエンテーリングをやっているのを知っているので、結婚式などで会うと、出るの？なんて聞かれます。普通の人はきっと30位くらい(40人中)じゃ納得しないでしょ。その意味じゃあ、故郷に錦を飾るといいますが、逆に恥をかくことだってある訳です。その意味じゃあ、厳しい、おまけ気分じゃ参加できません。世界選手権代表になれなければWGの選手は辞退したいくらいです。世界選手権での予選通過くらいの実力を持っていて、WGでも上半分を目指したいですね。地元として盛り上がるためにも、うまく調整すれば、可能だと思っています。まあ、10位とかいいんですが、世界選手権に出ている身からすれば、そんなに甘いもんじゃないのは分かっていますから。

トレインはうち(実家)の近くです。もちろん秋田にいる時からオリエンテーリングをしてた訳ではありませんが、ある意味ラッキーなこと。自分としても最後のチャンスとしてがんばろうと思っています。